

# 帳票レイアウトの操作方法

- 1 帳票レイアウトを編集するには
- 2 帳票レイアウトを保存するには
- 3 帳票のサイズを設定するには
- 4 コントロールの配置とプロパティの設定
- 5 コントロールに画像を表示するには
- 6 帳票レイアウトのインポートとエクスポート

# 1 帳票レイアウトを編集するには

伝票などの帳票類に、自社のオリジナルの書式や得意先の指定伝票などを使用したい場合、帳票レイアウトを使用して帳票の書式をカスタマイズすることができます。

クイックナビゲータが表示されていないときは[ナビゲータ]ボタンで表示できます。

① クイックナビゲータを[事業所データ]タブに切り替えます。

② [帳票レイアウト]アイコンをクリックします。

メニュー

ツール → 帳票レイアウト

キーボードショートカット

Alt → T → L

③ 編集したいレイアウトを選択して[開く]ボタンをクリックします。

→ レイアウトは、ダブルクリックでも開くことができます。

● レイアウトを編集し、保存します。

→ レイアウトをカスタマイズする方法については、P247 以降を参照してください。

参照 レイアウトの編集

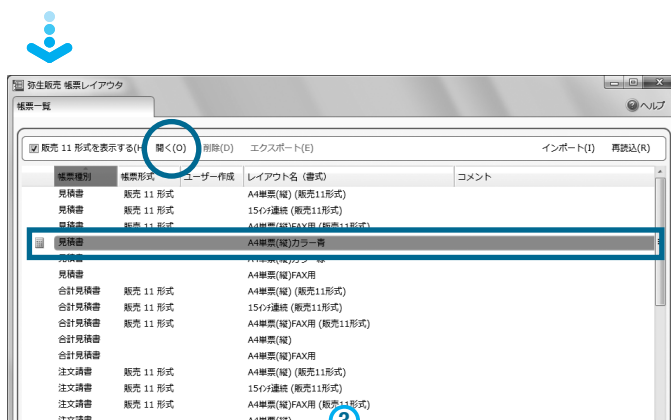
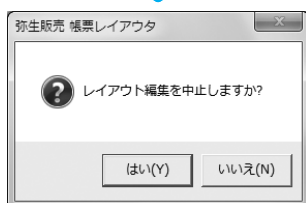
6.3 帳票のサイズを設定するには → P249

6.4 コントロールの配置とプロパティの設定  
→ P250

参照 レイアウトの保存

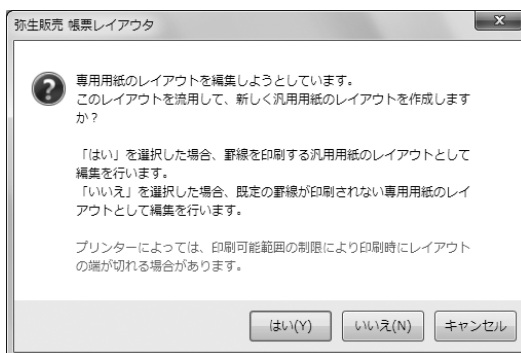
6.2 帳票レイアウトを保存するには → P248

→ 画面右上の[変更を破棄する]ボタンをクリックすると、レイアウトの変更を保存せずに、開いているレイアウトを閉じることができます。



一度、汎用紙のレイアウトに変換したレイアウトは、専用紙のレイアウトに戻すことはできません。

## 専用紙のレイアウトを開く場合の選択



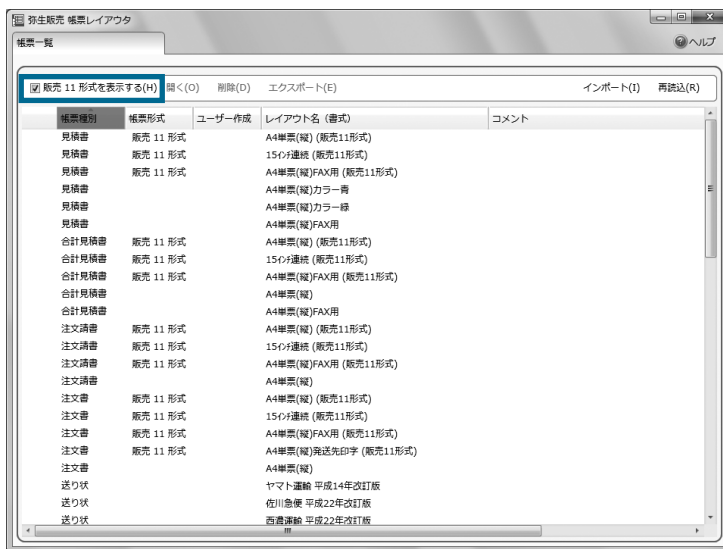
専用紙のレイアウトを開くときは、新しいレイアウトを専用紙のレイアウト(罫線印刷なし)として作成するか、汎用紙のレイアウト(罫線印刷あり)に変換するかを選択する画面が表示されます。[はい]をクリックすると、汎用紙のレイアウトとして作成され、[いいえ]をクリックすると、専用紙のレイアウトとして作成されます。

「弥生販売 16 プロフェッショナル」で弥生販売 11 形式のレイアウトを開いた場合は、「帳票レイアウト(弥生販売 11 形式)」が起動します。

弥生販売 11 形式の帳票レイアウトは「コンバータ」で「弥生販売 16」の形式に変換することができます。

**参照** コンバータ  
1.2 旧製品の事業所データは  
コンバートします → P19

## 弥生販売 11 形式のレイアウト



「販売 11 形式を表示する」を ☒ にすると、「弥生販売 11」で使用していた形式のレイアウトも一覧に表示されます。

## 2 帳票レイアウトを保存するには

標準テンプレートの帳票レイアウトを編集した場合は、別の名前で保存する必要があります。ユーザーが作成した帳票レイアウトは、同じ名前で上書き保存することができます。

- ① [変更を保存する] ボタンをクリックします。
- ② 「レイアウト名」と「コメント」を入力して [名前を付けて保存] ボタンをクリックします。



- ➡ 「レイアウト名」が同じでも「コメント」が異なる場合は、別のレイアウトとして保存されます。

### ● 保存されているレイアウトの削除

- ➡ 削除可能な帳票レイアウトは、「ユーザー作成」欄に○が付いているレイアウトのみです。標準テンプレートは削除できません。

削除できないレイアウトを選択しても [削除] ボタンは表示されません。

削除したい帳票レイアウトを選択して [削除] をクリック



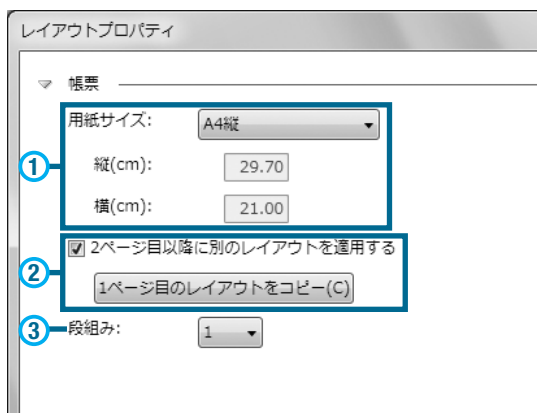
# 3 帳票のサイズを設定するには

専用品紙用として作成されたレイアウトは、**用紙サイズ**が固定されていますが、汎用品紙用として作成した**レイアウト**は、用紙サイズを変更することができます。「A4」「B5」以外に、**ユーザー定義**のサイズも設定できます。

- ① コントロール(項目)の配置されていない場所で右クリックして、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- ② 「レイアウトプロパティ」の内容を設定します。



## ■ 「レイアウトプロパティ」(用紙サイズ)

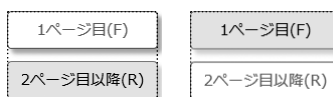


### ① 用紙サイズ:

帳票を印刷する用紙のサイズ(A4 縦／ A4 横／ B5 縦／ B5 横／ ユーザー定義)を選択します。「ユーザー定義」を選択した場合は、「縦」および「横」で用紙サイズ(単位 cm)を指定します。

### ② 2 ページ目以降に別のレイアウトを適用する:

☒ にすると、帳票の 2 ページ目以降を異なるレイアウトで印刷することができます。2 ページ目以降のレイアウトがある場合は、「2 ページ目以降」ボタンが赤色の網で表示されます。2 ページ目のレイアウトを表示している画面では、「1 ページ目」ボタンをクリックすると、1 ページ目のレイアウトを表示することができます。



2 ページ目以降のレイアウトは、白紙に作成することもできますが、「1 ページ目のレイアウトをコピー」ボタンをクリックして、1 ページ目のレイアウトを 2 ページ目以降のレイアウトにコピーしてから編集することもできます。

### ③ 段組み:

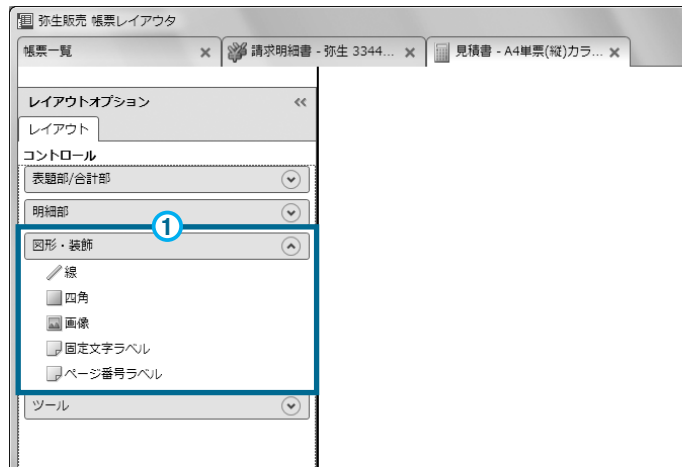
「2」以上を選択すると、帳票の 1 ページが 2 枚または 3 枚に分かれるレイアウトを作成する場合に帳票の区切りとなる位置に波線を表示します。

# 4 コントロールの配置とプロパティの設定

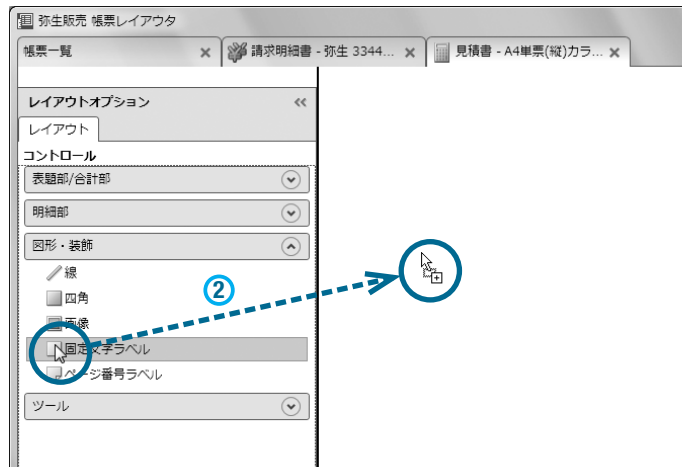
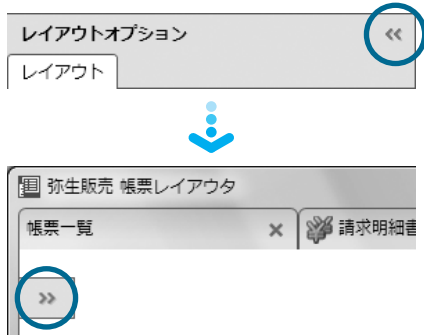
帳票のレイアウトは、テキストや図形などを表示するコントロール(項目)を配置することによって作成します。コントロールの表示内容は、各コントロールの[レイアウトプロパティ]によって設定します。

## ■ コントロール(項目)の配置

- ① [レイアウトオプション]でコントロールの種類(表題部／明細部／図形・装飾／ツール)をクリックして配置したいコントロールを表示します。
- ② 配置したいコントロールをドラッグして配置します。



- ➡ [レイアウトオプション]の右上のボタンをクリックすると、[レイアウトオプション]のウィンドウを閉じることができます。再度ボタンをクリックすると、[レイアウトオプション]のウィンドウが表示されます。



- ➡ 配置されたコントロールは、ドラッグして移動できます。

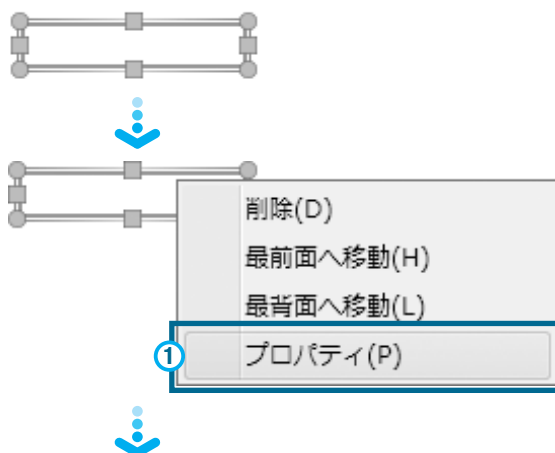


## ■ コントロールのレイアウトプロパティの設定

① コントロールを右クリックして、メニューの[プロパティ]をクリックします。

➡ コントロールをダブルクリックしても[レイアウトプロパティ]を表示できます。

② [レイアウトプロパティ]の内容を設定します。



➡ [レイアウトプロパティ]の設定内容については、P252以降を参照してください。

**参照** レイアウトプロパティ

[表題部 / 合計部]に属するコントロール → P254

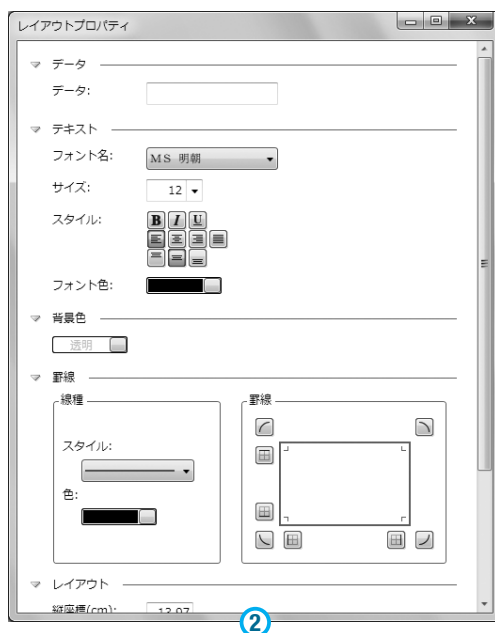
[明細部]に属するコントロール → P256

[図形・装飾]に属するコントロール → P258

[ツール]に属するコントロール → P259

一部のコントロールに共通 → P260

➡ [レイアウトプロパティ]の設定内容は、コントロールの種類によって異なります。



➡「テーブル」は、表形式のデータを表示することができるコントロールです。「ヘッダー」「フッター」「明細行」から成ります。

➡「左詰めパネル」のコントロール内には、複数の項目を配置することができます。配置された項目は、データがあるものだけ左詰めで表示されます。

➡ コントロールのサイズは、各コントロールの[レイアウトプロパティ]でも設定できます。

➡ テーブル内の行の高さは、「ヘッダー」「フッター」「明細行」に個別に設定できます。

➡ 「明細行」の行の高さを変更すると、明細行内のすべての行の高さが同じ高さに設定されます。

➡ 各項目の幅は、列ごとに設定されます。

## ● ドラッグによるコントロールのサイズ変更

### テーブル以外のコントロール



■ テーブル以外のコントロールは、コントロールの各頂点または中点のハンドルをドラッグすることによってサイズを変更することができます。

### テーブル内の行の高さまたは列の幅

商品名	単位	数量	単価	金額	備考
<商品コード>					
<商品名>	単位	<数量>	<単価>	<金額>	<備考>

商品名	単位	数量	単価	金額	備考
<商品コード>					
<商品名>	単位	<数量>	<単価>	<金額>	<備考>

■ テーブル内の行の高さまたは列の幅は、テーブル内の横または縦の罫線をドラッグすることによって変更することができます。

## [表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティ

### ■ データ

#### システム固定文字列を表示するタイプ

▼ データ

① データ:

② 書式: 

接頭辞	文字列	接尾辞
ABC		-2012
例 ABC文字列-2012		

##### ① データ:

システムによって固定された文字列が表示されます。

表示される文字列は、帳票の種類によって異なります(例:[見積書]の場合[御見積書])。

##### ② 書式:

固定された文字列の前後に表示される「接頭辞」と「接尾辞」を指定できます。

#### システム固定文字列を表示するタイプ

▼ データ

① データ:

② 書式: 

yyyy/MM/dd

例  
2011/04/01

##### ① データ:

帳票に入力された日付または処理日が表示されます。

表示される日付は、コントロールおよび帳票の種類によって異なります(例:[見積書]の「伝票日付」の場合[見積日])。

##### ② 書式:

表示する日付の書式を選択できます。

### ■ テキスト

▼ テキスト

① フォント名:

② サイズ:

③ スタイル: 

<b>B</b>	<i>I</i>	<u>U</u>
☐	☐	☐
☐	☐	☐

④ フォント色:

##### ① フォント名:

テキストを表示するフォントを選択します。

##### ② サイズ(単位はポイント):

テキストを表示するサイズを入力します。

「サイズ」は、直接数字を入力するか、またはボックスの右側の▼をクリックしてリストから選択します。

##### ③ スタイル:

テキストを表示するスタイルを選択します。

<b>B</b> 太字	☐ 右詰め
<i>I</i> 斜体(イタリック)	☐ 両端揃え
<u>U</u> 下線付き	☐ 上詰め
☐ 左詰め	☐ 中央揃え(上下方向)
☐ 中央揃え(左右方向)	☐ 下詰め

##### ④ フォント色:

テキストを表示する色を選択します。

➡ P258 色の設定

## ■ 背景色

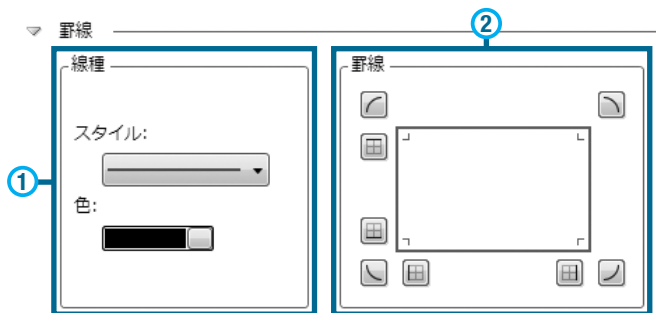


### ① 背景色:

テキストボックスの背景色を選択します。

➡ P258 色の設定

## ■ 罫線



### ① 線種:

テキストボックスの罫線の「スタイル」および「色」を選択します。

➡ P258 線種の「スタイル」の設定

➡ P258 色の設定

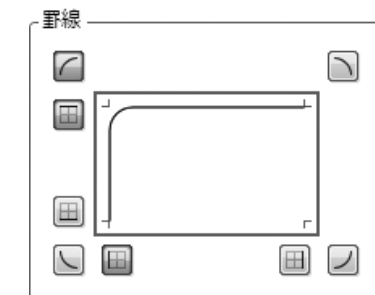
### ② 罫線:

罫線を引く囲みの線(上下左右)と角の丸みの有無を設定します。



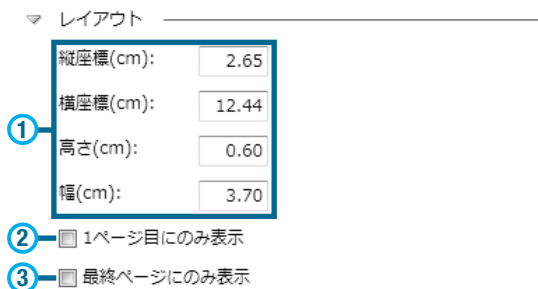
上下左右の枠に罫線を引くかどうかを選択します。

罫線の状態は、ウィンドウ上で確認できます。



頂点(左上／右上／左下／右下)の角に丸みを付けるかどうかを選択します。

## ■ レイアウト



### ① 縦座標／横座標／高さ／幅:

テキストボックスの位置と大きさを数値(単位は cm)で指定します。

### ② 1ページ目にのみ表示:

☒ にすると、コントロールを1ページ目にのみ表示します。

### ③ 最終ページにのみ表示:

☒ にすると、コントロールを最終ページにのみ表示します。

## [明細部]に属するコントロールのレイアウトプロパティ

### ■ データ

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「データ」と同じです。

➡ P252 データ

### ■ テキスト

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「テキスト」と同じです。

➡ P252 テキスト

### ■ 背景色



#### ① 背景色:

明細行の背景色を選択します。

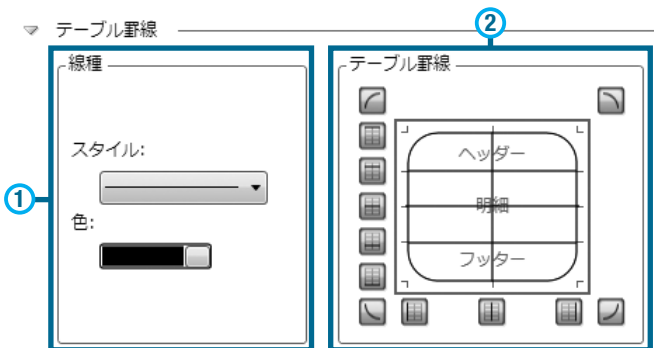
➡ P258 色の設定

#### ② ストライプ:

☒ にすると、明細行の1行ごとに異なる背景色を表示することができます。

➡ P258 色の設定

### ■ テーブル罫線



#### ① 線種:

名細部の罫線の「スタイル」および「色」を選択します。

➡ P258 線種の「スタイル」の設定

➡ P258 色の設定

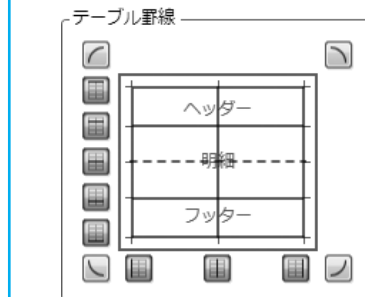
#### ② テーブル罫線:

罫線を引く外枠の線および内枠と角の丸みの有無を設定します。



外枠の上下左右の枠に罫線を引くかどうかを選択します。

罫線の状態は、ウィンドウ上で確認できます。



内枠のヘッダー下側/フッター上側および明細部の横/縦の罫線を引くかどうかを選択します。



頂点(左上/右上/左下/右下)の角に丸みを付けるかどうかを選択します。



## ■ テーブル

### ▼ テーブル

① 明細列数:

② 明細行数:

③ ☒ フッターを表示する  
フッター列数:

#### ① 明細列数:

明細部のテーブルの列数を指定します。

「フッターの列数」は、「明細列数」とは無関係に設定できます。

#### ② 明細行数:

明細部のテーブルの行数を指定します。

明細行数には、ヘッダーおよびフッターは含まれません。

#### ③ フッターを表示する:

☒ にすると、明細部のテーブルにフッター(合計行)を表示します。フッターの列数は、「フッターの列数」で指定します。

## ■ 列(テーブル内の項目が選択されているときのみ)

### ▼ 列

① 幅(cm):

#### ① 幅:

明細部のテーブル内に配置された項目の列幅を指定します。

「列」の「幅」を変更すると、同一の列内の列幅が、すべて変更されます。

## ■ 行(テーブル内の項目が選択されているときのみ)

### ▼ 行

① 段数: ☐ 一段 ☒ 二段

② 高さ(cm):

#### ① 段数:

項目内の行数(一段/二段)を選択します。

#### ② 高さ:

明細部のテーブル内に配置された項目の行の高さを指定します。

「行」の「高さ」を変更すると、二段の項目は同じ高さに設定されます。

## ■ レイアウト(テーブルが選択されているときのみ)

### ▼ レイアウト

① 縦座標(cm):   
横座標(cm):

#### ① 縦座標/横座標:

テーブルの位置と大きさを数値(単位は cm)で指定します。

## [図形・装飾]に属するコントロールのレイアウトプロパティ

### ■ データ

#### ユーザー指定の固定文字列を表示するタイプ

▼ データ

① データ:

① データ:  
表示したい文字列を入力します。

#### 自動ページ番号を表示するタイプ

▼ データ

① データ:

② 書式:

① データ:  
ページ番号が表示されます。

② 書式:  
ページ番号の書式を選択します。

### ■ テキスト

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「テキスト」と同じです。

➡ **P252** テキスト

### ■ 罫線

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「罫線」と同じです。

➡ **P253** 罫線

### ■ レイアウト

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「レイアウト」と同じです。

➡ **P253** レイアウト

### ■ 画像(画像が選択されているときのみ)

▼ 画像

①

②

#### ① 画像の設定:

コントロールに表示する画像ファイルを選択します。

選択可能なファイルのフォーマットは「.bmp / .jpeg / .jpg / .gif / .png」のいずれかです。

➡ **P257 6-5** コントロールに画像を表示するには

#### ② 原型のサイズにする:

コントロールに表示されている画像をオリジナルのサイズに合わせます。

## [ツール]に属するコントロールのレイアウトプロパティ

### ■ データ(左詰めパネルが選択されているときのみ)

▼ データ

① データ:

① データ:  
「左詰めパネル」と表示されます。

この内容は変更できません。

### ■ 背景色

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「背景色」と同じです。

➡ P253 背景色

### ■ 罫線

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「罫線」と同じです。

➡ P253 罫線

### ■ 印(担当者印が選択されているときのみ)

▼ 印

① 印の個数:

① 印の個数:  
担当者印の欄の個数を設定します。

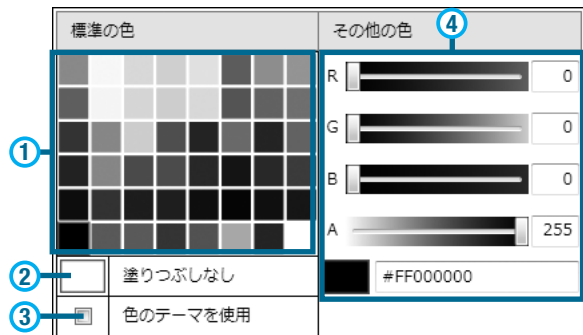
### ■ レイアウト

[表題部 / 合計部]に属するコントロールのレイアウトプロパティの「レイアウト」と同じです。

➡ P253 レイアウト

## 一部のコントロールに共通するレイアウトプロパティ

### 色の設定



#### ① 標準の色:

標準で用意されている色の中から選択します。

#### ② 塗りつぶしなし:

無色に設定します。

#### ③ 色のテーマを使用:

☒にすると、画面左下の「色のテーマ」で選択した色が設定されます。



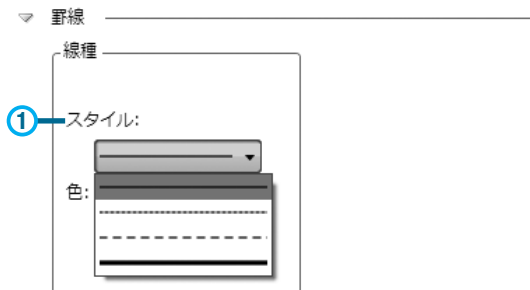
「色のテーマ」は「罫線」「背景」「文字」をそれぞれ別個に選択できます。

#### ④ その他の色:

「R (原色の赤色)」 「G (原色の緑色)」 「B (原色の青色)」 「A (黒色)」 の比率をユーザーが指定します。

色の比率は、それぞれ「0 ~ 255」の範囲で設定します。設定された比率は、下のボックスに表示されます。

### 線種の「スタイル」の設定



#### ① スタイル:

罫線の線種を選択します。

# 5 コントロールに画像を表示するには

画像のコントロールには、**画像データ**を表示することができます。画像データを表示するには、Windows の **画像ファイル**(「.bmp」「.jpeg」「.jpg」「.gif」「.png」)を**帳票レイアウト**に読み込んでから画像の**コントロール**に設定します。

① 画像のコントロールを右クリックして、メニューの[プロパティ]をクリックします。

➡ コントロールをダブルクリックしても[レイアウトプロパティ]を表示できます。

② [画像の設定] ボタンをクリックします。

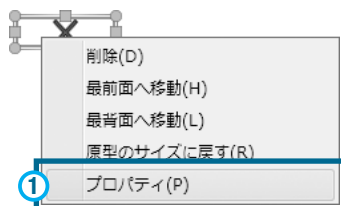
参照▶ 原型のサイズ

画像(画像が選択されているときのみ) ➡ P258

③ [追加] ボタンをクリックします。

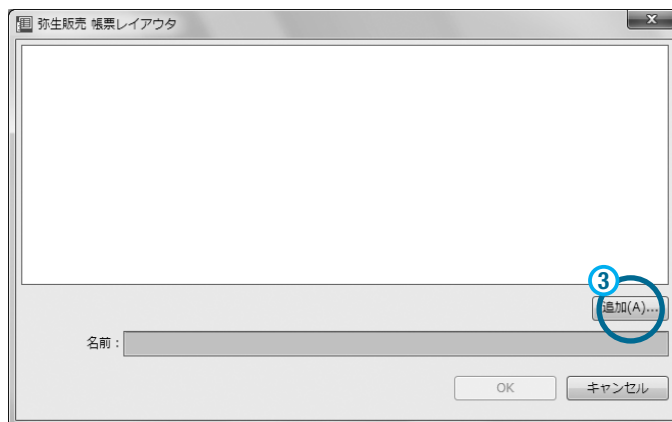
④ 追加したい画像データのファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。

⑤ 設定したい画像を選択して[OK] ボタンをクリックします。



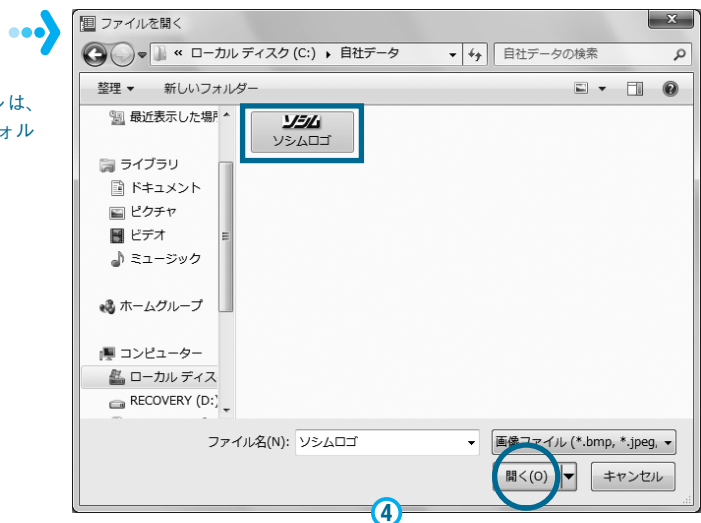
➡ 初期の状態では、帳票レイアウトに画像は読み込まれていません。

➡ 帳票レイアウトに読み込まれている画像は、画像ファイルを追加しなくても画像のコントロールに表示させることができます。

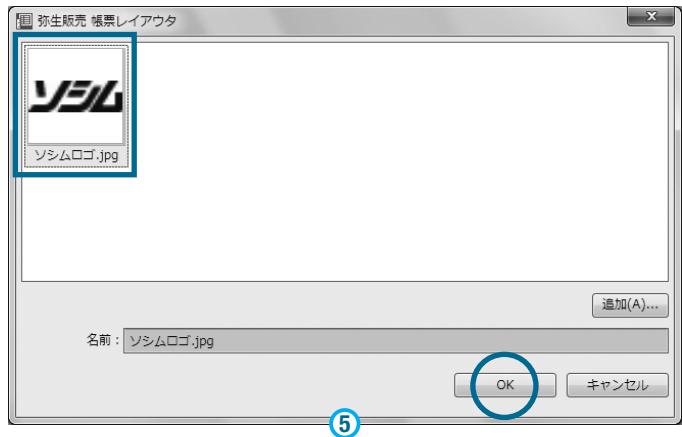


次頁へ ➡

➡ 追加したい画像ファイルは、ファイルの保存されているフォルダを開いてから選択します。

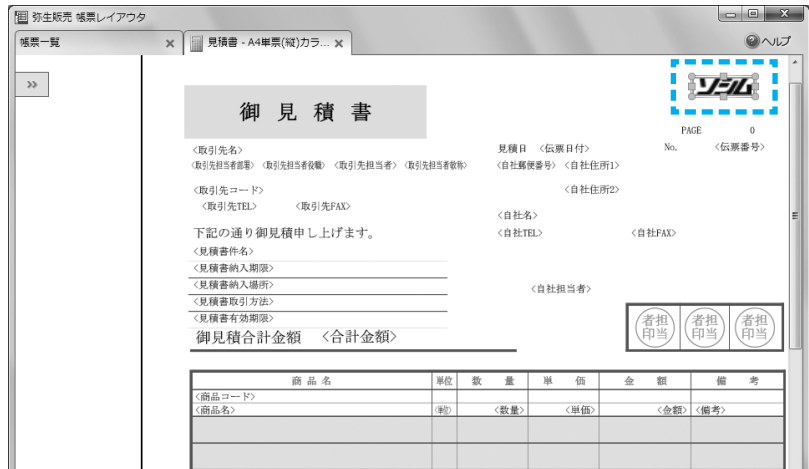


➡ 帳票レイアウトに追加された画像ファイルは、画像のコントロール上に表示することができます。



ここで[OK]をクリックすると、[レイアウトプロパティ]のウィンドウに戻ります。

➡ 右の画面は、コントロールに画像が表示された例です。

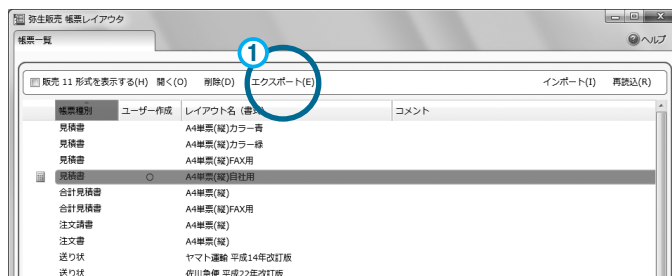


# 6 帳票レイアウトのインポートとエクスポート

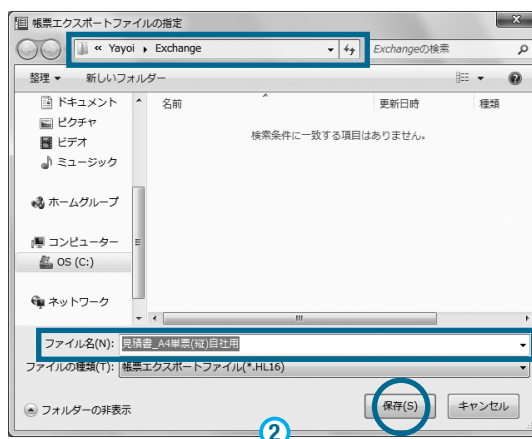
帳票レイアウトで作成した帳票レイアウトは、エクスポートの機能によって、Windows のファイルとして保存することにより、他のパソコンにコピーすることができます。コピーした帳票レイアウトは、帳票レイアウトでインポートすることにより、他のパソコンでも使用できるようになります。

## ■ エクスポート

- ① エクスポートしたい帳票を選択して[エクスポート]をクリックします。
- ② レイアウトデータを保存するファイル名を指定して[保存]ボタンをクリックします。



- ➡ レイアウトデータのファイル(拡張子「.HL16」)をコピーして別のパソコンに移動することにより、帳票レイアウトを移動できます。



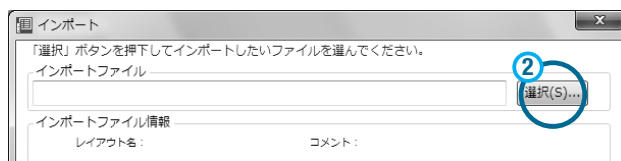
## ■ インポート

- ① [インポート]をクリックします。
- ② [選択]ボタンをクリックします。
- ③ インポートしたいレイアウトデータのファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。
- ④ 「インポート先指定」でインポート先(「新規に取り込む」または「既存のレイアウト名」に上書き)を選択して[OK]ボタンをクリックします。

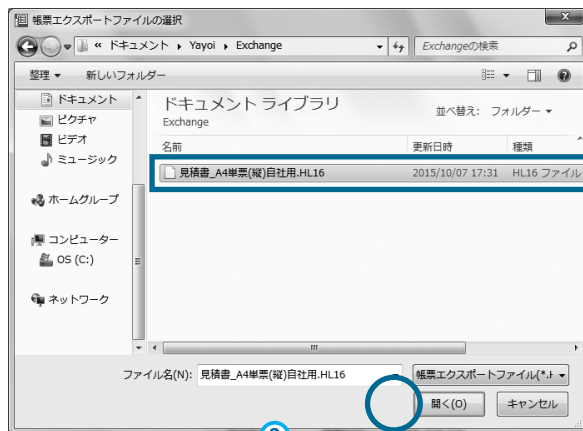


次頁へ ➡

⑤ [OK]をクリックします。



⑥ レイアウトデータをインポートするには、レイアウトデータのファイル(拡張子[.HL16])をあらかじめインポート先のパソコンにコピーしておく必要があります。



⑦ 一度もインポートされていないレイアウトデータをインポートする場合は、「インポート先指定」は「新規に取り込む」のみにになります。

